

令和5年度 指定管理者 評価報告書

No.	25	評価区分	Ⅱ 観光施設、産業振興施設
施設名	飛騨古川ふれあい広場施設	所管課	建築住宅課
指定管理者	株式会社 飛騨ゆい	地域名	古川町

1 施設の概要

施設所在地	飛騨市古川町黒内673
設置目的	地域資源を活用した都市住民との交流を通じ、地域の活性化と産業の振興を図る。
施設の概要	天然芝3面(WA、WB、V)、人工芝1面(X)、ふれあいの森広場

2 指定管理者制度の導入状況

制度の当初導入	平成18年4月	募集の方法	公募
評価年度の属する指定期間	令和3年度 ～ 令和7年度 (5年間)		
利用料金制	有り		

3 職員の配置

配置人員	常勤	役員1名
	非常勤	月給職員1名、時給職員3名

4 施設利用者の推移

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数 (人)	4,447	9,105	14,634	17,281
前年度増減比 (%)		104.7%	60.7%	18.1%

5 業務計画における達成状況

実施目標	達成状況
計画人数 17,500人	計画の99%。

6 モニタリングによる意見及び苦情等の把握と対応状況

アンケート方式	手段	件数	件
その他の方式	手段	件数	件
利用者等からの意見と対応	要望・意見・苦情	対応	
指定管理者に対する意見	① 特に無し		
	②		
	③		
市に対する意見	① 7月8月の芝状況改善	天然芝の品種変更	
	②		
	③		

7 地域との交流・連携の取り組み

取り組み	実績及び評価
飛騨市観光協会と協力し地元大会の相談を実施、令和5年度に大会を開催。	新たな大会開催に前向きな姿勢が見受けられる

8 指定管理者からの提案方策の実施状況

取り組み	実績及び評価
芝草管理技術者2級以上の配置。	芝草管理技術者2級に加え岐阜県農薬管理指導士を配置し、天然芝の良好なコンディション維持に努めている。

9 自主事業の実施状況

実施内容	実績及び評価
ふれあいの森広場でのキャンプ事業。	利用者数が少なかったものの、新たな事業へ積極的に取り組む姿勢が窺える。

10 人材育成の状況

実施内容	対象・回数など
天然芝に関する研修資料の共有	職員間での共有。

11 収支に関する状況(経費の縮減)

(単位:千円)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	主な内容
収入	22,768	24,273	25,856	26,128	
指定管理料	20,900	20,900	20,900	20,900	
利用料金	1,545	2,963	4,477	4,677	
純売上高		323	297	488	
その他	323	87	182	63	
支出	21,958	14,745	19,974	18,291	
売上原価					
人件費	9,914	6,439	7,502	7,722	
光熱水道費	941	975	1,202	1,095	
設備保全費	25	107	88	47	
修繕費	66	166	1,043	103	
備品消耗品	5,452	2,373	5,025	4,290	
清掃費					
その他管理費	248	595	397	293	
運営費事務費	1,015	1,061	1,931	2,971	
その他	4,297	3,029	2,786	1,770	
指定管理業務収支	810	9,528	5,882	7,837	
自主事業収支	1,172	1,111	409	78	
全体収支	1,982	10,639	6,291	7,915	

※指定管理料が0円の施設の自主事業収支は、指定管理業務収支に含まれるものとする。

12 収入確保に対する取組

取り組み	実績及び評価
芝生を良好な状態で維持し、利用満足度を向上。	利用満足度を向上させることで、固定客の増加を図っている。

13 経費削減に対する取組

実施内容	実績及び評価
マニュアルにとらわれず状況をみながら施肥を行うなど、必要最低限の管理を心掛けている。	コストと品質のバランスに配慮し、積極的に取り組まれている。

14 指定管理者の評価

指定管理者制度運営委員会での審査を経て決定された最終評価

大項目	評価		評価に対する内容
平等利用の確保(10)	c	(4)	・ふれあい協議会と連携し、早い時期に利用調整が図られている。 ・単純な先着順では利用離れが起きるなど施設効用が十分に発揮できないことは理解できるので、現状のように大会等に対し先行予約を設けることが妥当と考えられる。不公平が生じないように引き続き配慮の上、利用促進に努められたい。
施設の効用の発揮(25)	b	(19)	・コロナ禍前の令和元年度(17,878人)に対しては約97%の利用者数であり、堅調に回復している。 ・WAについては令和5年度ゴールデンウィーク後、冬芝から夏芝への転換に着手したため、比較的使用を抑えた状況であった。雑草が芝の広がりを邪魔しており完全な夏芝化にあと2年程度かかると見込まれるものの、使用可能期間の増加が期待できる。
安定した管理能力(20)	c	(10)	・芝草管理技術者2級、岐阜県農業管理指導士の職員を配置し、品質管理に積極的に取り組まれており、天然芝の管理能力は高い。また、利用者からも品質に対する好印象が感じられる。 ・芝以外の施設や設備の管理についても気配りを願う。 ・施設の管理者に連絡がつきづらく、改善を要する。
経費の縮減(20)	b	(15)	・資材コストを抑えるための努力が見受けられる。肥料、種、農薬等については、芝のコンディションに応じた対応がなされており、引き続き品質面やコスト面で最適な選定を行って頂きたい。 ・WAの夏芝化により、農薬や肥料の年間使用量が今後減少すると見込まれ、継続中の夏芝化への取り組みが今後の経費削減に繋がっている。
自主事業等及び各課で定める項目等(25)	c	(13)	・ふれあいの森広場で実施されたキャンプ事業については利用者数が少なかったものの、新たな事業へ積極的に取り組む姿勢が窺える。利用者数を増加させるため、課題整理の上、引き続き様々な活用を検討願いたい。
総合評価	C+	(61)	WAの夏芝が完全に広がるにはもう少し時間がかかるものの、これまでの経験を活かし積極的に取り組んでおり評価できる。引き続き、品質の向上に取り組み、固定客の増加に繋げて頂きたい。